

【競技のフィールド】
4000mm x 3000mmのエリア内で、タイルカーペットのフィールドを使用。
【ボール】
硬式テニスボールを使用。
【ロボットの台数】
3台(1台はキーパー)+予備機1台。
【試合方法】
3台のロボットから構成される2つのチームによって試合を行う。
試合中により多く得点したチームを勝ちとする。
予選リーグの場合、両チームが同点の時は試合は引き分けとする。
決勝トーナメントで同点の場合、3分間の延長戦を行う。延長戦ではどちらかがゴールした時点で試合終了とする。延長戦でも勝敗がつかない場合は、延長戦終了時に相手チームのゴールにボールが近い方のチームを勝利チームとする。
決勝戦の場合のみPK戦を行う。
PK戦は試合終了時にフィールド上にいた3台のロボットにより行PK戦において、3回のPKにおいて決着がつかない場合はサドンデス方式で行う。
予選落ちトーナメントの場合、両チームが同点の場合は、延長戦は行わず試合終了時に相手チームのゴールにボールが近い方のチームを勝利チームとする。
【試合時間】
予選リーグは1試合5分間とし、前後半およびハーフタイムは無い。
予選落ちトーナメントは1試合5分間とし、前後半およびハーフタイムは無い。
決勝トーナメントは前後半5分間とし、ハーフタイムは1分間とする。オーバーする場合は審判の判断による。
タイムアウトは行えない。ただし審判の判断で一時中断する可能性はある。
【ロボットの交代について】
ロボットの交代について回数および再入場に関する制限は無い。
ロボットの交代する場合は、審判に交代の意思を伝え、試合が中断した時に審判の指示に従って交代を行うこと。
全てのロボットは、ゴールキーパーとポジションを交代することができる。ただし、ゴールキーパーに交代するロボットはゴールキーパーの機体レギュレーションを満たしていなければならない。
ゴールキーパーのロボットを交代もしくはポジションチェンジする場合は、審判に変更の意思を伝え、試合が中断した時に審判の指示に従って行うこと。
【試合開始について】
試合開始のキックオフは、代表者同士のじゃんけんで決める。
キックオフが行われるまでは、各ロボットは相手エリアに侵入してはならない。
キックオフは審判の試合開始の合図の後10秒以内にボールを蹴らなければならない。
キックオフを行ったロボットは、他のロボットが触れるまで再びボールに触れてはならない。
キックオフから直接ゴールは認められない。直接ゴールした場合は相手チームのキックオフで再開する。
【試合中について】
試合中に反則が行われた場合は、相手チームにフリーキックを与える。
フリーキックを行う際、審判の合図の後10秒以内にボールを蹴らなければならない。その際、相手チームのロボットはすべて500mm以上離れなければならない。
混戦で10秒以上ボールが動かなかった場合は、審判の判断でニュートラルスタート(全てのロボットはボールから500mm以上離れる)を行う。
試合中の転倒において、10秒以内に起き上がれないロボットは、審判の判断でフィールド外に退場させる。再入場は試合が中断している時に、審判の許可を得てフィールドに再入場すること。
他のロボットが折り重なって起き上がれない場合は、審判が機体を分ける。
ゴールキーパーは手・腕・足などを使って15秒以上ボールを保持してはならない。
ペナルティエリア内のゴールキーパー以外は、ロボットの手をボールに触れてはならない。ボールに手が当たることによって優位になったと審判が判断した場合は、ハンドの反則とする。
ペナルティエリア内のゴールキーパー以外は、故意にボールを保持してはならない。
【ペナルティエリア内のロボット台数制限について】
ペナルティエリア内では、自チームおよび相手チームの各1台しか入ってはいけない。
ペナルティエリア内に同じチームのロボットが複数いる場合は、速やかにどちらかのロボットがペナルティエリア外に出なければならない。ペナルティエリア内に複数ロボットがいることで、優位になると審判に判断された場合は反則とし、相手チームにフリーキックもしくはペナルティキックを与える。

【ボールアウトについて】
タッチラインからボールが出た場合は、相手チームのキックインで再開する。
キックインから直接得点することはできない。
キックインで相手ゴールに直接入った場合、相手チームのゴールキックで再開する。
キックインで直接オウンゴールした場合、相手チームのコーナーキックで再開する。
タッチラインからボールが出た場合は、ゴールキックもしくはコーナーキックで再開する。
ゴールキックおよびコーナーキックからの直接ゴールはこれを認める。
オフサイドは適用しない。

【ゴールについて】
ゴールポストの内側とクロスバーの下を、ボールの全体がゴールラインを越えたときにゴールと認め1点を与える。
ゴールからの試合再開は、相手チームのキックオフから再開する。

【審判について】
それぞれの試合は、任命された試合に関して競技規則を施行する一切の権限を持つ主審によってコントロールされる。
副審は、主審が競技規則に従って試合をコントロールすることを補助する。
副審は、その試合が行われる前の試合のチームよりそれぞれ1名ずつ選出する。そのチームから主審を選出している場合、相手チームより副審を2名選出する。

【深刻な反則について】
反則の内容が深刻な場合、審判はイエローカードもしくはレッドカードを提示する。
イエローカードは2枚、レッドカードは1枚でその試合について退場処分とする。
退場処分によるロボットの欠員補充は認めない。